

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



吉澤 純平

(茨城/101期)

(5月松戸) ダービーはあんまり構えずに仕掛けることができたんですけど、自分が弱かったです。体の状態は良かった。セッティングも迷いがなくなって吹っ切れました。特別なことはないけど、毎年のように呼んでもらっているので頑張ります。

小原 唯志

(茨城/101期)

久しぶりの地元記念なんで、配分が入ったのはうれしいですね。脚の感じは悪くないんで、あとはうまく力を出し切れるように。(同県の)若い子たちも強くなっていますからね。勝ち上がらないと意味がないし、決勝を目標にやっていきたい。



森田優弥 (埼玉/113期)

埼玉のホープは順調に出世街道を歩んでいる。今年1月にA級で9連勝してS級特進。4月伊東トラック支援ではG3初出場で決勝進出を果たした。今シリーズも関東勢のけん引役として期待がかかる。



PICK UP RACER



庄子信弘 (宮城/84期)

2年前にA級3班のチャレンジまで陥落したが、どん底から這い上がってきた。昨年7月にS級初昇格。不惑を迎えた今年は4月函館で待望のS級初優勝を飾った。まくり兼備のタテ脚に磨きがかかっている。



吉田昌司 (茨城/111期)

地元のホープはS級に上がって伸び悩んでいる印象だが、徐々に本領を発揮し始めている。5月前橋では今年初優出。準決勝はまくりで強豪を相手に金星を挙げた。初の地元記念でファンにアピールする。



6/4 (最終日) 9R

レインボーカップ A級ファイナル

最終日の9レースにレインボーカップA級ファイナルが行われる。このレースで3着以内に入ればS級特進が決まる。
3車で結束する可能性が高い大阪トリオが総合力で優っている。大石崇晴、山本巨樹、松村友和の順で並ぶと考えるのが自然だろう。大石、山本の2人は来期A級予定で、勝負駆けのレースになる。好調な大石が自慢のスピードで山本とのマッチレースに持ち込もう。松村は3番手で援護に回る。
小林泰正、藤原憲征の関東コンビも強力だ。来期はA級2班の予定の小林はここで決めたい。藤原は格上の決め脚を披露している。
矢口大樹は直近4カ月の競走得点98点台とメンバートップだ。ここも攻めのスタイルは崩さない。

大阪トリオが中心



大石 崇晴